

【連続シンポジウム】「東京の住宅地」の現在と未来

第5回：郊外住宅地開発の今とそのマネジメント

2014年10月、11年ぶりの新版「東京の住宅地 第四版」を発刊した。この執筆者らとともに、人口減少期・東京圏の住宅地における現在と未来を考える連続シンポジウムを開催してきた。

第5回のテーマは「郊外住宅地開発の今とマネジメント」である。現在、人口減少・高齢化が深刻化する住宅地がある一方で、未だ開発途上の住宅地もあり、郊外住宅地の様相は様々である。当連続シンポジウムではこれまでも郊外住宅地をその対象としてきたが、今回はそのまとめとして、議論を深化させたい。

日 時：2016年5月31日（火）17:00～20:00

会 場：建築会館会議室（東京都港区芝5-26-20）

主 催：日本建築学会 関東支部 住宅問題専門研究委員会

〈プログラム〉

趣旨説明：後藤智香子（主査／東京大学）

主題解説：1. 「現代の首都圏の郊外住宅地の開発 -TX沿線の開発など」

乾 康代（茨城大学・教授）

2. 「郊外再生に関わるマネジメントの最新事情や課題」

温井 達也（株式会社プレイスメイキング 代表取締役）

討 議：コメンテーター・高山 登（委員／街並景観プランナー）

司会・佐々木誠（委員／日本工業大学）

参加費：会員 500円、学生 無料、一般 1000円（当日会場払い）

（資料代別「東京の住宅地 第四版」頒布価格1500円）

定 員：70名（申込み先着順）

申込み：こちらの申し込みフォームからお申し込みください

日本建築学会 関東支部 E-mail:kanto@aij.or.jp TEL03-3456-2050